

個別事業費	43 千円
交付金額	21 千円

## 地域の実情と課題

男性の相談窓口は女性のそれと比較して少なく、男性の悩み等を受ける相談機関の整備・拡充が求められる。

静岡市は、徐々に相談件数が増加しているが現状相談員が6人体制であり、各相談員の負担が大きく、事業拡大や相談員の突発的な事情への対応も困難である。

## 事業の特徴

令和5年度静岡県と共催で県内在住男性（自認）を対象に男性相談員養成講座を実施した。その中から、新規の男性相談員の担い手を確保し、相談員の実践スキルを向上させるために、OJT指導、相談事業に関わる知識を学べる研修、日頃の相談業務での悩みなどを専門知識を有する方にスーパーバイザーとしてアドバイスを受ける場を設けた。

## 事業の効果

講座の内容を理解できた人の割合（受講者アンケート） 69.4%（未達成）  
研修等実施回数 3回（達成）

## 目的・目標

性別役割分担意識に縛られ悩みを抱えている男性の孤独・孤立解消のため、相談回数拡充に向けた新規相談員の育成及び人間関係、仕事、生き方などについて相談を受けるスキルの向上を図ることで、相談しやすい環境を整備する。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	講座の内容を理解できた人の割合（受講者アンケート）	80% （アウトカム）	69.4%	86.8%
事業KPI	相談員として活動できるようになった人数	2人 （アウトカム）	1人	50%

## 連携団体

静岡県、県内中部の自治体、市認定男女共同参画団体等

## 今後の課題

相談員の確保及び継続的な補助や研修などが必要である。

## 事業の概要

困難や悩みを抱える男性の相談を受ける新規の男性電話相談員の育成を実施した。

### ・相談員のOJT指導

相談員のフォローやフィードバックができる体制を作るため、1回の相談に対して2名体制で相談事業を行った。

### ・研修

市男性電話相談員・その他関係者を対象に、相談事業に関わる知識を学べる研修を年1回実施した。

### ・SV

新しく市男性電話相談員となった方への支援として、日頃の相談業務での悩みなどを専門知識を有する方にスーパーバイザーとしてアドバイスを受ける場を年2回設けた。



07 静市共第 845-1 号  
令和 7 年 8 月 6 日

静岡県健康福祉部  
福祉長寿局福祉長寿政策課長 様

静岡市長 齋藤 俊司  
(市民局男女共同参画・人権政策課)

静岡市男性相談事業における相談員研修会の講師の派遣について（依頼）

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

当課では男女共同参画社会の実現に向け、平成 20 年 5 月から男性電話相談「メンズはっとなんて」を実施しており、人間関係や健康、労働、生き方など、男性からの様々な悩みに関する相談に応じています。

この度、相談員の専門知識向上を目的とした研修会を下記のとおり実施することといたしました。

つきましては、御多忙の折、誠に恐縮ではございますが、下記のとおり講師を派遣していただきたくお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和 7 年 9 月 23 日（火）朝 午前 9 時 30 分から午前 11 時 30 分まで
- 2 会 場 静岡市女性会館（アイセル 21）41 集会所
- 3 内 容 孤独・孤立問題について  
第 1 部 孤独・孤立事業の概要（静岡県福祉長寿政策課長）(30 分程度)  
第 2 部 介護による孤独・孤立（静岡男性介護者交流会）(50 分程度)
- 4 講 師 静岡県健康福祉部福祉長寿局福祉長寿政策課 職員
- 5 参加予定者 静岡市男性相談員、メンズ・サポート・しずおか（相談員養成団体）メンバー 20 名程度
- 6 その他 本研修参加者には研修以外で資料を使用しない旨を伝えております。

【担当】  
静岡市 男女共同参画・人権政策課  
男女共同参画・人権政策係 大塚・田村  
TEL 054-221-1349 FAX 054-221-1782  
E-mail: ssnkaku@city.shizuoka.lg.jp